



2016 Jan

# NEWS

## 育てたまう神の御心

後援会総務 山本 龍一郎 大森野バプテスト教会牧師・2006年卒業



栄光在主

私は1998年4月に蓮根教会でバプテスマを受け、喜びをもって教会で積極的に奉仕を献げる中、東京バプテスト神学校においても学ぶ機会に恵まれ、牧師献身の道が与えられたことは不思議なる神の御業によるものです。神学校で教鞭を執られていた諸先生方による経験談をいくつも耳にした私でしたが、よく理解することができませんでした。当時の私は科目の単位を取得することに喜びを覚え、神学生であった現在の妻と

の出会いにうつつを抜かしているような始末でした。神様はそのような私をも憐れんでくださり、牧師として更に召し出してくださいました。赴任先の教会における種々の課題の重さに押し潰されそうになった際、神学校で教鞭を執られていた諸先生方の経験談の実際を身につまされ、自分の力ではどうにもならない現実を突きつけられ、四苦八苦いたしました。教会が抱える種々の課題に対して自分の知識や経験、情熱の全てをもって取り組んでも思うようにならない中で、神様は私を「信じない者」から「信じる者」へと造り変えてくださったのだと、いま思うことができます。

イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」ヨハネによる福音書20章29節

これまで三度、主にある兄弟姉

妹の葬儀を執り行わせていただきました。教会では、ゆりかごから墓場までと言われるように、一人ひとりの信徒の全生涯に関わる事柄を丁寧に扱う使命をも主から託されています。葬儀の際に、先に召された兄弟姉妹をお見送りしながらも、主の御座において必ず再会できる希望のメッセージを語ることで、自らも励まされ、牧師は教会にとって重要な役割を担っていることを再認識し、新たな思いへと至ります。聖書の言葉は真実です。そして諸先生方の経験談も真実であり大変貴重なものです。

東京バプテスト神学校で、今後も神学生が共によく学び、良き働きを献げてゆくことができますよう、心よりお祈り申し上げます。また、後援会としても東京バプテスト神学校を支えていきたいと願っていますので、ご協力よろしくお願い致します。

卒業生の証

# 西の端から

相浦光キリスト教会牧師 2010年卒業 武林 真智子



大学時代の旅行以外、足を踏み入れたことのない九州、またJRの本土最西端と記された佐世保駅、初めてばかりの体験をいただきながら、3年の年月が流れ、4回目のクリスマスを迎えています。この場所には、東京バプテスト神学校を知る人はいません。西九州地方連合の中にも、神学校といえば西南学院大学と考えておられる方ばかりです。教会員が入所されている施設に訪問に行っても、「女の神父さん」と言われるほどに、カソリックの教会の多い場所です。

相浦光キリスト教会は、2017年に宣教50周年を迎えます。その間、35年を別の場所で伝道所から教会組織への移行時代を過ごしており、現在教会堂のある「新田町」では、10年の間に2年ごと、2回の無牧師を経験しています。新しい町で、近くには

ほとんど教会員の住居がない場所です。佐世保の街からトンネルを越えると、広々とした水田地域が広がり、招聘を受けた10月は、教会の周りは豊かな稲穂が金色に揺れていました。バプテスマ者や他行会員が戻って来たりして、ようやく礼拝は、25名ぐらいの方々と一緒に献げることができています。一人ひとりの顔が見える、その方の一週間に思いをはせて、宣教奉仕をさせていただき、共に過ごすことが許されています。

3年目になり、牧師に与えられた宣教と牧会という奉仕の奥深さを、ひしひしと感じています。どんなに教会での多くの集会があるより、教会員の方々と共に生きるためには、豊かな対話が必要なことを思います。自分で感じているスピード感と、教会員のそれぞれが感じておられる進

み方が違っていることに、何度も気付く経験をしました。聖書の中で、主イエスが一人ひとりに向かい合い、立ち止まって応答されていたことを思うとき、そこには記されない時間と祈りがすでにあつたことを感じます。自らの時間ではない、砕かれた思いの中で、神様の時間に委ねて、忍耐強く、仕えていくことの重要性を感じています。

最近、近くにインターができて、少しずつ住宅地へと移行している様子が感じられます。教会理念「地域にキリストの愛を伝える」には、まずこの地域の方々に、教会の場所と連なる人々を知ってもらうことから思うのです。それぞれの人々の心の奥深くにあるキリストに触れ、福音が希望の光になっていくために、神と人ともに仕えていく相浦光キリスト教会でありたいと思うのです。



西九州地方連合

長崎

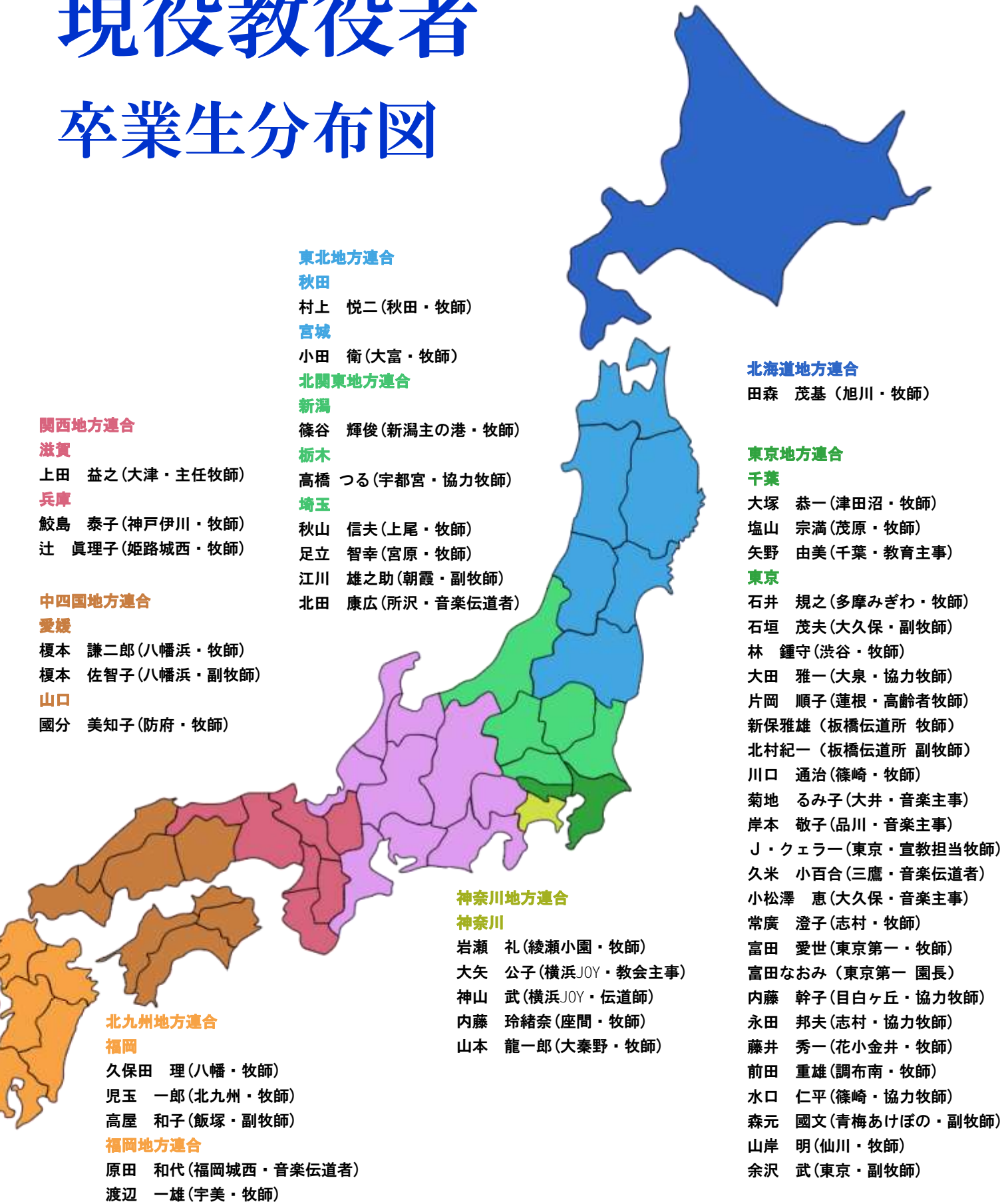
武林 真智子（相浦光・牧師）

沖縄バプテスト連盟

沖縄

田畑 凡男（名護・牧師）

# 現役教役者 卒業生分布図



## 東京バプテスト神学校後援会

会長 秋山信夫(上尾キリスト教会牧師)  
 副会長 石垣茂夫(大久保バプテスト教会副牧師)

総務 山本龍一郎(大秦野バプテスト教会牧師)  
 総務 村中範光(品川バプテスト教会・神学校事務長)

# 神学校献金の取組み

相模中央キリスト教会 川勝高宏



相模中央の神学校献金についての運動を紹介するように、との依頼を頂き、お引き受けしましたが、考えてみると特段の特筆すべきことはありませんでした。しかしせっかくの機会を頂きましたので、相模中央の神学校献金制度への取り組み方と壮年会活動の関わりということでご紹介させていただきます。

相模中央ではもう久しく、(多分20年くらい?)教会会計は、いわゆる「統一会計制度」を採用しています。その中では、伝道活動等教会運営に関する予算は当然ですが、連盟への協力伝道献金、西南学院奨学

金制度に対する連盟への神学校献金、東京バプテスト神学校への神学校献金、近隣施設への寄付なども予算化されその予算に従っての支出がなされています。この数年は連盟への神学校献金は40万円、東京バプテスト神学校への神学校献金は17万円となっています。

その上で、相模中央壮年会は、この神学校献金の原資となる収入を確保できるように、壮年会活動の一環として収益を得る活動を長く継続しています。それは毎月第1と第3の昼食提供です。その前日の土曜日に材料を仕入れて当日は当番の5~6

名の壮年に加えて女性陣のサポートも得ながら大体80人~90人分くらいの昼食が準備されます。

また年2回(1回のこともあります)の教会バザーへの出店も年中行事です。教会バザーの主役は女性会ですが、壮年会も頑張ります。担当はおでんと焼きそばです。このいずれもが教会バザーの定番必需品となっております。今後は神学校献金を増額できるように、更に活動を充実したいと願っております。

## 2015年度4月~12月末の神学校献金(教会・集会)実績

43件 合計 2,072,714 円

【東京地方連合】千葉バプテスト教会 千葉・若葉キリスト教会 花小金井キリスト教会 篠崎キリスト教会 赤塚バプテスト教会 花野井バプテスト教会 蓮根バプテスト教会 日本バプテストキリスト教目白ヶ丘教会 仙川キリスト教会 大久保バプテスト教会 茗荷谷キリスト教会 大井バプテスト教会 【北関東地方連合】飯能バプテスト教会 ふじみ野バプテスト教会 新潟主の港キリスト教会 宇都宮キリスト教会 日本バプテスト前橋教会 西川口キリスト教会 【神奈川連合】横浜JOYバプテスト教会 港南めぐみキリスト教会 大秦野バプテスト教会 湘南台バプテスト教会 藤沢バプテスト教会 青葉キリスト教会 横浜JOYバプテスト教会 相模中央キリスト教会 【その他】姫路城西キリスト教会 三沢バプテスト・キリスト教会 鮫バプテスト教会 金沢キリスト教会 入学礼拝席上献金 北ブロック女性の集い 南ブロック女性集会 西ブロック女性会 東ブロック女性集会 神奈川連合壮年会 夏期講座 開会礼拝献金 神学校デー 席上献金 後期始業礼拝 席上献金 教役者研修会 閉会礼拝献金 東京地方バプテスト教会 連合一連合の集い 北関東地方連合壮年会 冬期講座 開会礼拝席上献金

## 2015年度4月~12月末の神学校献金(個人)実績

64名・87件 合計748,712円

伊藤真知子 越智満 塩山宗満 奥田厚子 岡口久 加山礼子 吉野輝雄 金香泰誠 高橋つる 高橋望・由美 高地輝夫 高柳美枝子 鮫島泰子 三木暁・百代 山崎清美 山本弘夫 山本龍一郎 山崎美奈 児玉一郎 秋山信夫・純子 小向光雄 小坂直樹 小松澤一枝 小牧由香 小柳隆司 常廣澄子 植木ひとみ 森田敏夫 神山武 水口仁平 杉浦優子 杉田啓太 清水智子 西岡康博 西方泉 石井規之 川勝高宏 前田重雄 村上悦二 大矢公子 滝川佳秀 谷利仁志 鳥山美恵 鳥飼好男 辻真理子 椿原喜代子 鶴ヶ岡裕一 鶴野博子 渡部富夫 渡辺一雄 東方敬信 藤井秀一 藤井敏子 内藤淳一郎 飯野實 氷川英俊 片岡順子 北島靖士 北野弘子 牧甫 鈴木知子 蓮香隆夫 和田たけし 和田彪

### 東京バプテスト神学校の働きを支援するために あなたも「後援会」にご入金ください

1. 定期支援・・・ 個人会員 年額1口5,000円 何口でも歓迎します。
2. 自由献金支援 支援額も、支援回数もご自由にお決めください。

郵便振替口座 00210-8-75658 東京バプテスト神学校後援会 ※後援会負担の振込用紙をご利用ください